



はちきれんばかりの笑顔で、夏休み目前の、おそらく一年で一番まぶしい「さようなら」を交わす機会が消えてしまったのは寂しい限りです。本日は、大雨警報による臨時休業。本来であれば終業式で子どもたちに伝えなかったお話をお伝えします。

## 終業式で伝えなかったこと

1学期には児童会が「ほめほめタイム」を2回行い、計7人の掃除名人が紹介されました。式辞では、同じように頑張っている人たちの、三つのシーンを紹介するつもりでした。

### 【ほめほめ①】

掃除のことが生活目標になっていてもいなくても、いつも黙って掃除をしている人がいます。暑い昼休みに遊んだ後でも、汗を流しながら、ずっと一生懸命、黙って掃除をしていたのが、職員室前廊下の子どもたちでした。きれいな行動が習慣になっているのでしょう。

### 【ほめほめ②】

毎朝、チョボラに頑張った人がいます。玄関マットを持ち上げ、その下の泥を掃き、そして元通りにしていました。いつも何人かで協力しておこなっていたのですが、時には、たった一人になっても頑張っていました。「今日は、友達がいないからやめよう」ではなく、一人ででもやり続けるところが立派でした。



### 【ほめほめ③】

5年生の行った集団宿泊学習でのこと。食事の後、床を履く掃除を、他の学校(笠田小学校)の友達がしていました。もう余っているほうきはありませんでしたが、その子は、「代わります」と言って、笠田小学校の友達からほうきを譲り受け、掃除をしました。

これらはどれも、周りの人のことを考えた行動です。自分が汚したのではないところをきれいにする。後に使う人のことを考える。人の大変さを感じて、代わろうとする。自分の時間とパワーを少しだけ他の人のために使うというところが、この三つの共通点です。

「お家で長い時間過ごす夏休み。今まで育ててくれた家族に、少しだけ自分の時間とパワーを使って、家族に恩返し(手伝い)をしてはどうでしょうか」。校長先生から子どもたちへの宿題です。

## きらきら輝く夏に

上高野小学校のN校長先生は理科の先生で、化石に詳しいかたです。先日の5年生の五色台宿泊学習では、化石に興味をもった男の子が、こぞってN校長先生の所に行き、化石の話をお聞きしていました。

子どもたちが、あまりにも熱心に化石のことを聞きたがったからでしょう。火曜日の早朝、N校長先生は、本山小学校に、ご自身がお持ちの化石(右写真)を持ってきてくださいました。

ちょうどその日の朝は全校集会がありましたので、この化石を全校生に紹介するとともに、「この化石は、九州に行ってみつけたんですよ!」ときらきらとした目で語るN校長先生に感銘を受けたことを伝えました。50歳を過ぎても、5年生以上にきらきらした目で、自分の好きなこと、好きなものについて語る。いい人生です。



明日から夏休み。一生打ち込める「大好き」なものが見つかるといいですね。